

# 議会報告会実施報告書

日 時	令和 5年 11月 19日 (日) 10時 00分 ~ 11時 50分		
会 場	藤沢市役所本庁舎9階 第1議会委員会室	代表者	西 智
出席議員	【広報広聴委員】西 智、谷津 英美、加藤 彩野、井上 裕介、柳田 あゆ、森井 健太郎、吉松 巳希 【議員】竹村 雅夫、柳沢 潤次、原田 建、佐賀 和樹、友田 宗也、町田 輝佳、松尾 宏之、神尾 江里、安藤 好幸、大矢 徹、佐野 洋、東木 久代		
役割分担	報告者	井上 裕介、吉松 巳希	
	司 会	西 智	挨拶 副議長 竹村 雅夫
	受 付	井上 裕介、吉松 巳希	案内 加藤 彩野、森井 健太郎
参加人数	56 名		
経過記録	開 会 ( 10 時 00 分)		
	説 明 ( 10 時 5 分 ~ 10 時 15 分)		
	意見交換 ( 10 時 15 分 ~ 11 時 20 分)		
	発表・講評 ( 11 時 20 分 ~ 11 時 50 分)		
	閉 会 ( 12 時 00 分)		
意見交換の概要 (主な意見・質問 等及び答弁)	<p>①何故投票率が低いのか、投票に行かないのか 政治は難しいイメージ、それが興味関心の低さに繋がる。忙しい、面倒。日付を知らない。知識がない。重要性が分からない。身体的な理由で投票場に行くのが難しい。交通手段がない。投票したい人がいない。住民票を移していない。</p> <p>②投票率が向上する事によるメリット 民意が反映される。投票する事で、政治に興味が生まれる。若者の意見が反映される。色々な意見が集まる。意見が反映される事で、意識が高まる。参加する事で、社会貢献ができる。当選した人と落選した人の差が顕著になる。色々な層の意見が聞ける。</p> <p>③投票率が向上する事によるデメリット 少数派の意見が通りにくい。1票の価値が下がる。適当な投票が増える。集計が大変になる。SNSで誹謗中傷が増える。投票所が混む。意見をまとめるのが難しくなる。</p> <p>④投票率を上げるための具体策 投票する事による特典をつける。コンビニやショッピングセンターで投票ができるようにする。インターネットで投票できるようにする。SNSを活用して、分かりやすくまとめる。SNS、回覧板で周知をする。ポスターを改善する。投票所を増やす。義務教育で選挙や政治の教育に取り組む、模擬投票を行う。投票所までのシャトルバスを出す。分かりやすい広報をする。不正防止にAIを活用し、オンライン投票化する。</p>		
その他(今後の 課題・感想等)	<p>まさに義務教育中、義務教育を終えた子ども達から、学校でもっと選挙や政治の教育を行い、幼い頃から政治に触れる機会を増やした方がよいという意見が多く出たことは大変興味深かったです。指導する立場の大人の思想に左右されない事が大前提であり、やり方については慎重になるべきではありますが、模擬投票等で、幼いころから政治や選挙を身近な問題として捉える機会を設ける事はとても重要な事であると感じました。18歳未満の参加者という事もあり、オンライン投票やSNSの活用について多く意見があがりました。SNSの活用は、今後必須であるため、政治活動におけるSNSのルールが明確である事、そしてそれが周知される事が重要課題だと思います。</p> <p>実際に他市では、ショッピングセンターで投票できるようにした事により投票率がアップしています。オンライン投票等、今後の法改正が必要な事以外では、ぜひ本市でも積極的に行うべきではないでしょうか。</p>		

広報広聴委員会委員長 様

令和 5年 12月 5日

上記のとおり開催しましたので報告します。

吉松 巳希

## 議会報告会実施報告書

日 時	令和 5年 11月 19日（日） 14時 00分 ～ 16時 00分		
会 場	藤沢市役所本庁舎9階 第1議会委員会室	代表者	谷津 英美
出席議員	【広報広聴委員】西 智、谷津 英美、石井 世悟、小池 恵子、今井みきこ 【議員】桜井 直人、土屋 俊則、味村 耕太郎、有賀 正義、栗原 貴司、松長 由美絵、石川 麻央、山口 政哉、安田 景輔、須田 一行、西川 誠志、平川 和美、甘粕 和彦、塚本 昌紀		
役割分担	報告者	石井 世悟、今井 みきこ	
	司 会	谷津 英美	挨拶 議長 桜井 直人
	受 付	石井 世悟、今井 みきこ	案 内 小池 恵子
参加人数	59 名		
経過記録	開 会 （ 14時 03分）		
	説 明 （ 14時 03分 ～ 14時 15分）		
	意見交換 （ 14時 15分 ～ 15時 40分）		
	発表・講評 （ 15時 40分 ～ 15時 45分）		
	閉 会 （ 15時 50分）		
意見交換の概要 （主な意見・質問 等及び答弁）	<p>午後は18歳以上を対象開催し、一般の方の参加は20名以上になりました。一般の参加者、大学生、議員が各グループに分かれてワールドカフェ方式で行いました。議題は『投票率UP大作戦！』ということで、4ラウンド分けて課題とその解決に向けての意見出しを行い、集合知を共有した。1ラウンドでは低投票率の現状とその要因について話し合い、「興味がない」「いそがしい」「面倒だ」や「知らなかった」等の意見があった。2ラウンドでは席の移動を行い、投票向上のメリット・デメリットを出し合い、メリットとして「若者の意見が反映されやすい」「意見が多様になる」「議員の質の向上」、デメリットとして「投票所の混雑」「議会がまとまりずらくなる」等の意見があった。3ラウンドでは具体的な解決に向けての提案を出し合い「投票方法や投票場所の増設や活用の推進」「主権者教育の推進」等の意見があった。4ラウンドでは大学生による発表を各班で行い振り返りが行われた。「物理的に投票へ行きづらい高齢者や障害者の方などへの配慮を行う事や主権者教育の充実などまだまだ取り組めることはある」とのことで、多くの集合知が共有された。</p>		
その他(今後の 課題・感想等)	<p>全体的に参加者の関心度が高く、活発な意見交換が行われた。参加者の多くは問題意識を持って参加されている方が多く見られ、意見も多く出ていた。最後の講評では「共有をすることで、多くの共感を生むことで、多くの方が政治に参画し、共創できる地域社会になる」とのお話が牧瀬先生よりありました。選挙による民意の反映の精度をあげることが、共創社会を創るのであれば、私たちはもっと多くの情報を共有し、対話の中から共感を生むべく努力を続けることが求められていると感じました。 今後は回数を増やして関心が低い人の参加を促していかなければと思います。</p>		

広報広聴委員会委員長 様

令和 5年 12月 5日

上記のとおり開催しましたので報告します。

石井 世悟